



音楽にできることは何だろうか？

まさかこのようなスタートになるとは…。日本中、いや、世界中の人々が不安と恐怖と、悲しみの中に沈む今…。どうぞ、みなさまくれぐれもお気を付けください！

とはいえ、時は前へと進み続けます。今をどう使うかは私たち次第。サ日校では、オンラインの取り組みが始まり、画面上には皆さんの笑顔（時々眠そう…）が弾けています！

普通に授業をするよりも、何倍も時間をかけて先生方が準備をしています。担任だけでなく、これから派遣される先生方も校長先生や教頭先生、事務局の皆さんもみなで、今を乗り越えるために頑張っています！日本の皆さんも、サンパウロの皆さんも一緒に頑張ろう！じゃあ、音楽はどうするんだ？という問題なのですが…。実際、各クラスの音楽授業を行

いしましたが、なかなか大変！音楽の大切な要素であるリズムが合わせられない…。ネット環境と日本とブラジルの距離というダブルパンチはきびしい！

でも、楽器作りをしたり、鑑賞をしたり、個人で歌や楽器の練習をすることで、楽しく音楽を進めていきたいなと考えております。

非常事態だからこそ、音楽の持つ力が発揮されるべきです！

そこで、今考えていることは、「テレワーク校歌」の取り組み。

先生方と相談中ですが、近々保護者の皆様にもご協力をお願いすることになるかもしれません。

簡単に言うと、各自自撮りした歌や踊り、楽器の演奏を合成して一つの曲にして発表！というものです（裏面に写真）。できれば、世

の中に発信できるような取り組みにしたいと考えておりますので、ご支援お願いいたします！

日本経済新聞

音楽の力でコロナと闘う ガガさんらが映像イベント

2020/4/19 18:01

【ロサンゼルス=共同】世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスとの闘いで結束を呼び掛け、医療従事者を応援する世界的な音楽イベントが18日（日本時間19日）、米三大ネットワークや動画投稿サイト「ユーチューブ」、交流サイト「フェイスブック」などで開催された。米女性歌手レディ・ガガさんや、ポール・マッカートニーさん、自宅などから映像で出演、歌と演

ABC ニュース

音楽で合唱禁止 学校再開に向け大阪市がコロナ対策

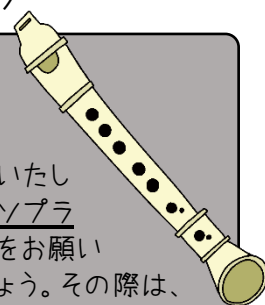
大阪市は、小中学校や幼稚園の再開に向けた感染症対策を明らかにしました。音楽で歌わないなど、授業内容を制限します。

大阪市教育委員会によりますと、毎朝、各家庭で子どもの体温や健康状態を確認して用紙に記入してもらい、学校に持参することを求めます。また、教室では可能な限り、常に窓を開け、教員と児童の距離は2メートル以上確保する他、教員には、マスクの着用を義務づけます。さらに、体育では身体が接触するような運動はせず、音楽

音楽授業の準備について（オンライン時）

しばらくは、不自由な音楽授業となりそうです…。教科書曲も進んでいきますが、配布されていない方もおられますので、学習時に画面に楽譜を映す予定です。難しい場合は、PDFを送付いたしますね！合唱が難しい状況ですので、小学部1・2年生は鍵盤ハーモニカ、小学部3～6年生はソプラノリコーダー、中学部も「ソプラノリコーダー」を使いますが、ある人は「アルトリコーダー」の準備をお願いします。日本の夜間になりますし、プレジオの中だと音はちょっと…NG。というご家庭もあるでしょう。その際は、音を出さずに、手だけパタパタでもOKです。

なお、日本国内の中学生は、ほぼ「アルト」で学習しています。メーカーや形式はどんなものでも結構です。できる範囲でご準備ください。ブラジル国内でも、アルト・ソプラノともに購入可能です（今は無理…ですが）。



テレワーク合奏ってどんなの？



ちょっと画面が小さいですが、「新日本フィルハーモニー」オーケストラの皆さんが、パプリカを演奏している様子です。一緒に演奏しているのではなく、自宅で自撮り。お互いの空気を感じることは難しくとも、離れていても音楽で心をつなぎ、見事な演奏を聴かせてくれます。

今回、挑戦したいのはこの校歌版、子ども版です！できれば、リオや世界の休校中の日本人学校ともやり取りをしたいな…。と夢は膨らみ中(笑)。

改めまして「自己紹介」

はじめまして。そして、今年もよろしく願いいたします！音楽を担当いたします、サ日校3年目になりました、杉本真樹(すぎもとまさき)です。北海道より派遣され、サ日校では赴任時から専科を担当しております。今年は、教務主任としてもお世話になります！

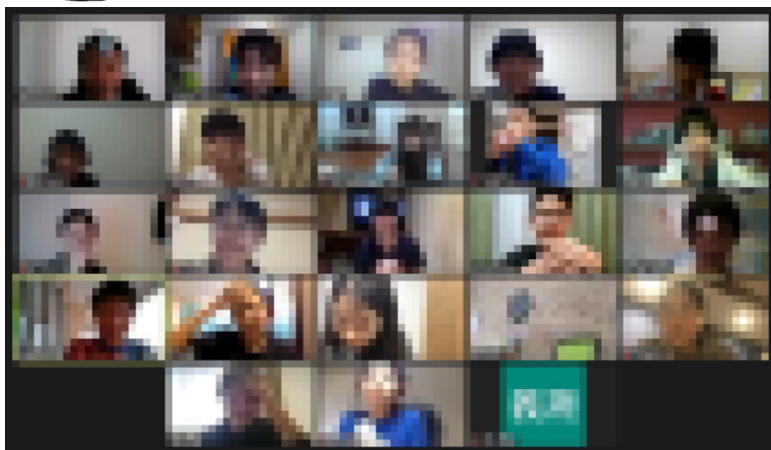
生まれも育ちも兵庫県姫路市ですが、日本最北の中学、宗谷中学校をスタートに、現在は利尻島で小学校教諭をしております。専門は吹奏楽(ファゴット)なのですが、ピアノを弾かない(弾けない)先生として定着してきた感もあります(泣)。海外生活は二十年ぶり二度目。青年海外協力隊として、今はもう入国不可能となってしまった、シリアの難民キャンプで音楽教員をしていました。

なお、今年度しばらくは、4・5年生の理科も担当いたします！大学進学時、理学部が音楽から就職かを悩んだ私(笑)。久々の理科授業も楽しみにしています。音楽を通じて心のつながりや成長、そして将来にわたって音楽を愉しめるような時間を目指していきます！

どうぞよろしくお願いいたします！



ちょこっと音楽ばなし



右のように、たて2cm、横1cmの切り込みを入れます。(カッター使用注意)あとは、息を入れるだけで、ちゃんと楽器になります！これって、サククスやクラリネット同様の、「リード楽器」の原理なのです。不思議ですよね。誰でも気づきから将来の楽器を発明できるかも…！



作り方はカンタン。

人類の生活の中には、常に音楽があつたようです。そこには、歌とともに「楽器」もありました。楽器と言っても、自然のモノを利用して音を出すという物。でも、その流れが現代まで脈々と続き、私たちの生活を潤してくれているのです。

そこで、授業では時々「楽器作り」をやっています。(あまり教科書には載っていないので、こっそりやっていますがこれが、結構おもしろい！サ日校には「竹林」があるので、これを使って…と、いつも考えているのですが、今の自粛生活ではなかなか難しいですね。

なので、身近な生活用品でつくれる楽器を紹介していきたいと思っています。早速、中学部の授業では、ヤクルトの空き容器やペットボトルで「笛」を作りました。中学生には、1週間の試行錯誤期間があつたのですが、皆さん切ったり貼ったり、いろいろ考えてくれたようです(笑)。

ペットボトルやヤクルトも立派な楽器？